

PictMaster 変更履歴

2016/4/11 Ver. 6. 4. 4

【バグ修正】

- ・PictMasterを、Cドライブ以外のUSBメモリなどに割り当てられる Fドライブなどに置いて、生成エンジンCIT-BACHで生成を行なうと、エラーとなるバグを修正した。
(v6. 0のバグ)

【その他】

- ・PictMasterで多数のワークシートを設けた場合にExcelのファイルサイズが大きくなりすぎて扱いにくくなることを回避するために制約欄を100個から50個に、結果表の行数を100行から50行に変更した。

2016/3/3 Ver. 6. 4. 3

【バグ修正】

- ・生成エンジンにPICTを使用して原型シートを使用した生成およびカバレッジを指定した生成を行なった場合、実行環境によっては正しく処理が行なわれない場合があるバグを修正した。
(v6. 0のバグ)

2016/2/1 Ver. 6. 4. 2

【バグ修正】

- ・「カバレッジを指定して生成」で、生成結果の1行目が削除されてしまうバグを修正した。
(v6. 4. 1のバグ)

2016/1/25 Ver. 6. 4. 1

【バグ修正】

- ・環境設定の「制約式を最適化」と「ゼロサプレスしない」の指定が正しく処理されなかったバグを修正した。(v6. 4のバグ)
- ・「カバレッジを指定して生成」で、環境設定で「ゼロサプレスしない」を指定してもゼロサプレスされてしまうバグを修正した。(v6. 3以前からのバグ)

2016/1/18 Ver. 6. 4

【機能改善】

- ・環境設定で「冗長なペアをチェック」を指定すると、生成結果の冗長なペアとなる値の先頭にマーク (^) を付加することができるようにした。このマークが付加された値は2パラメータ間の組み合わせがそれ以前のテストケースで100%網羅されているので、任意の値に置き換えることが可能であり、テストケースごとに値の変更に要する作業時間を削減できるようになる。

【その他】

- ・ライセンス規定をFreeBSDライセンスに変更した。
- ・環境設定の「プログレスバーを表示」は使い勝手が良くないので削除した。

2016/1/18 Ver. 6. 1. 1

【その他】

- ・Excel2003でも動作するPictMasterが必要との要望にこたえるため、Excel2003に対応した旧バージョンを再リリースした。

【バグ修正】

- ・1つのパラメータでエイリアスかつ無効値である値が2つ以上ある場合に、その2つ以上の値を結果表で同一の期待する結果として同時に指定すると生成結果に結果表の指定が正しく反映

されなかったバグを修正した。(このバグは Ver. 6.2 以降で修正済み)

- ・ある特定の複雑な制約を指定した場合、現状のCIT-BACHで正しくない生成結果が出力される問題があり、その問題を修正したバージョン1.02 のCIT-BACHを同梱した。

2015/9/7 Ver. 6.3

【機能改善】

- ・最小テストケース生成およびカバレッジを指定して生成で、プログレスバーを表示する／しないを環境設定で指定できるようにした。
- ・生成エンジンにCIT-BACHを使用した場合にも最小テストケース生成でプログレスバーを表示することが可能となるようにした。
- ・最小テストケース生成およびカバレッジを指定して生成を実行中に、ESCキーを押して実行を中止した場合にVBAのダイアログが表示されないようにし、ワークファイルおよびワーク用のシートの削除を行なうようにした。
- ・環境設定の数値入力欄で入力内容が全角文字の場合にエラー表示を行なうようにした。

【バグ修正】

- ・ウインドウ分割を行なった状態でテストケース生成を行なうとVBAのエラーとなるバグを修正した。
- ・Excel2013を使用して「カバレッジを指定して生成」を実行した際に、プログレスバーが表示されない場合があるバグを修正した。

2015/6/1 Ver. 6.2.1

【バグ修正】

- ・ある特定の複雑な制約を指定した場合、現状のCIT-BACHで正しくない生成結果が出力される問題があり、その問題を修正したバージョン1.02 のCIT-BACHを同梱した。
- ・結果表の左端の罫線が太線で表示されるように修正した。

2015/5/7 Ver. 6.2

【機能改善】

- ・制約表で扱える制約指定の数を50件から100件に拡張した。
- ・結果表で扱える結果指定の数を50件から100件に拡張した。

【バグ修正】

- ・生成エンジンがCIT-BACHの場合にサブモデルの使用でPictMasterのエラーとなる場合があるバグを修正した。
- ・エイリアスでかつ無効値の値を結果表で指定すると生成結果と一致しないバグを修正した。

【その他】

- ・ファイル形式をExcel2007以降のExcelマクロ有効ブック (*.xlsm)に変更した。この変更に伴い、本バージョンからExcel2003以前では使用できなくなった。

2015/1/12 Ver. 6.1

【機能改善】

- ・拡張サブモデルをサブモデルに一本化した。

【バグ修正】

- ・生成エンジンにPICTを使用して最小テストケース生成を行なった場合、制約指定に矛盾した制約があるなど、PICTが検出するエラーが発生するとVBAのエラーとなる問題を修正した。

2014/11/11 Ver. 6.0

【機能改善】

- ・生成エンジンCIT-BACHに対応した。

2014/9/21 Ver. 5.7.7

【機能改善】

- ・拡張サブモデルを指定して生成した場合、モデル(*1)によっては前バージョンより若干テストケース数が少なくなるようにした。

*1: 拡張サブモデルで指定したパラメータのみ指定したパラメータ組み合わせ数で生成し、他のパラメータは組み合わせ数1で生成したテストケースが、拡張サブモデル処理内部で組み合わせ数2として再生成した場合にすべて組み合わせに取り込まれなかった場合(*2)に、前バージョンまでは最も値の数が多いパラメータの値の数だけ最終的なテストケースに追加していたが、本バージョンからは2番目に値の数が多いパラメータの値の数だけ最終的なテストケースに追加するようにした。

このことで前バージョンまでと比べて最も値の数が多いパラメータの値の数から、2番目に値の数の多いパラメータの値の数を引いた数だけテストケース数が少なくなる。

*2: 例えば値の数が 8, 5, 3, 3, 2, 2, 2 のモデルで拡張サブモデルに最初の3つのパラメータを組み合わせ数3に指定して生成を行なうと、前バージョンまでは128件だったが本バージョンでは125件となる。

2014/09/14 Ver. 5.7.6

【バグ修正】

- ・値の並び欄の途中で改行を入れた値を制約表で指定するとエラーとなる問題を修正した。

2014/08/07 Ver. 5.7.5

【バグ修正】

- ・値が小数で、小数点以下が 0 のみであるとき、制約指定を行なうと「タイプミスマッチ」のエラーとなる問題を修正した。

2014/06/23 Ver. 5.7.4

【その他】

- ・PictMasterの著作権表示を変更した。

2013.12.1 Ver. 5.7.3

【機能改善】

- ・実行ボタンがクリックされた時、PICTがインストールされていることおよびnkf.exeがPICTフォルダ内に存在することをチェックし、存在しない場合エラーメッセージを表示するようにした。
- ・サブモデル欄でもショートカットメニューが使えるようにした。
- ・環境設定で「統計情報を表示」と「モデルファイルを表示」が同時に指定された場合、モデルファイルを表示した後で統計情報を表示するようにした。
- ・環境設定で「カバレッジを指定して生成」を指定した場合、ランダムなシードで生成されるようにした。
- ・環境設定で「指定したシードで生成」を指定した場合、右端の情報表示欄に指定したシードの値を表示するようにした。
- ・将来VBAがVBA8以降にバージョンアップされた場合に起きる互換性の問題を回避するようにした。

2013. 11. 1 Ver. 5. 7. 2

【機能改善】

- ・ネットワークドライブの割り当てを行っていないサーバ上に置いたPictMasterで生成を行なった場合、ユーザがログインしている“マイドキュメント”フォルダ内にファイルが出力されるようにした。

2013. 10. 24 Ver. 5. 7. 1

【バグ修正】

- ・64ビット版Excel 2010でVBAのコンパイルエラーとなる問題に対処した。

2013. 8. 1 Ver. 5. 7

【バグ修正】

- ・実行環境によりVBAのコンパイルエラーが発生する場合がある問題を修正した。

【機能改善】

- ・制約表のセルを右クリックしたときにコントロールキーが押されている場合、Excelのショートカットメニューを表示するようにした。

2013. 3. 25 Ver. 5. 6

【その他】

- ・ユーザズガイドをユーザズマニュアルに変更した。
- ・ユーザズマニュアルの軽微な記述誤りを修正した。

2013. 3. 11 Ver. 5. 6

【機能改善】

- ・制約表への値およびパラメータの記入をショートカットメニューからワンタッチで行なえるようにした。結果表への値の記入も同様にワンタッチで行なえるようにした。

2012. 7. 10 Ver. 5. 5. 1

【バグ修正】

- ・Excel2007以降のExcelで使用したとき、隣り合う制約条件が同じ内容で、隣り合う制約条件のセルを異なるが似かよった色で塗りつぶした場合、隣り合う制約条件が1つの制約として統合される場合があるバグを修正した。

2012. 4. 23 Ver. 5. 5

【その他】

- ・「k-way組み合わせと比較」の機能は仕様上の制限が多く実用的でないため削除した。
- ・「既存テストケースのカバレッジを表示」の機能は仕様上の制限が多く実用的でないため削除した。
- ・ユーザズマニュアルをユーザズガイドに変更した。

2012. 3. 27 Ver. 5. 4

【機能改善】

- ・組み合わせるパラメータ数(N)が1～5の範囲内であれば、「カバレッジを指定して生成」が実行できるようにした。この場合、N+1 wayのカバレッジ指定となる。
- ・組み合わせるパラメータ数(N)が1～5の範囲内であれば、N-wayとN+1-wayのカバレッジを表示できるようにした。
- ・拡張サブモデルで指定した2つ以上のパラメータについて、3つ以上から拡張サブモデルで指定したパラメータの数までの任意のパラメータ間の組み合わせ数を指定してテストケースを生成できるようにした。

- ・生成したテストケースで網羅されていない組み合わせを簡単に知ることができるように、任意の組み合わせのパラメータ数を指定して組み合わせを生成し、通常の方法で生成されたテストケースと比較して、テストケースに含まれていない組み合わせを灰色に塗りつぶして表示できるようにした。

【バグ修正】

- ・拡張サブモデルを指定した場合、パラメータの値が数値ではなく文字であるとVBAのエラーとなる場合があるバグを修正した。

【その他】

- ・拡張サブモデルで1つのパラメータについてのみ3パラメータ間の組み合わせとする機能は、メリットがなくデメリットが大きいため削除した。
- ・「実行」ボタンをクリックしたときにモデルファイル a.txt を新規に作成することができなかった場合に表示されるメッセージの文言をより分かりやすい文言に訂正した。
- ・値の並び欄にカンマ区切りで3つの数値を記入した場合、Excelのエラーマークが表示されることがある問題を修正した。
- ・ユーザーズマニュアルの内容を全面改訂した。
- ・その他に細かい改善多数

2012. 1. 11 Ver. 5. 3

【バグ修正】

- ・「既存TCのカバレッジを表示」で、ワークシートの名称が“a”でなかった場合にVBAのエラーとなるバグを修正した。
- ・「既存TCのカバレッジを表示」で、モデルファイル a.txt と テストケースファイル a.xls が一致していない場合にVBAのエラーとなる場合があったバグを修正した。

【その他】

- ・「全数組み合わせと比較」の機能を削除した。

2012. 1. 10 Ver. 5. 2

【機能改善】

- ・編集用のショートカットメニュー使用時のワークエリアとして、セルではなく定義したデータエリアを使用するように変更した。

【バグ修正】

- ・環境設定で「サブモデルを使用」と「全数組み合わせと比較」が同時に指定されていた場合、内容が空きの全数組み合わせが表示されるバグを修正した。
- ・制約表で値を指定するワイルドカードに“?”を使用する場合、全角の値の名称1文字を2文字の“??”で指定できるように修正した。
- ・結果表で、重み付けされた値を指定する際に、逆条件の“#”で指定すると、正しく処理されなかったバグを修正した。

2011. 12. 19 Ver. 5. 1

【機能改善】

- ・希望するパラメータのみ3パラメータ間の組み合わせとしたテストケースを生成する、拡張サブモデルの機能を追加した。

【バグ修正】

- ・「デフォルトのシードで生成」した際に、PICT内部でエラーを検出した場合にエラーメッセージが表示されなかったバグを修正した。

- ・Excel2003以前のExcelで、制約表の列についてショートカットメニューから「左に移動」を選択すると、内容が正しく移動されなかったバグを修正した。

2011.11.29 Ver. 5.0.1

【その他】

- ・アップデードインストールしたOffice2010で発生するバグにより、最小テストケース生成および3-Wayカバレッジ指定生成を行なうとVBAのエラーとなる障害に対処した。

2011.11.28 Ver. 5.0

【機能改善】

- ・テストケース生成時に3-Wayカバレッジと2-Wayカバレッジを表示できるようにした。
- ・生成済みのテストケースの3-Wayカバレッジと2-Wayカバレッジを表示できるようにした。
- ・希望する3-Wayカバレッジを確保したテストケースを生成することができるようにした。
- ・通常のテストケース生成と同時に全数組み合わせを生成することができ、網羅すべき重要な組み合わせが網羅されていないかを簡単に確認できるようにした。
- ・エイリアスの値についても値の重み付けができるようにした。
- ・統計情報で表示する項目のうち制約式最適化の有無について、環境設定で「制約式を最適化」が指定されていた場合のみ表示するようにした。
- ・環境設定で「設定を常に表示」が指定されていた場合に、表示する項目の行間が開かないように上に詰めて表示するようにした。
- ・扱えるテストケースの最大数を30000件から65535件に拡張した。
- ・64bit OS に正式に対応した。
- ・パラメータと値の並び欄、制約表および結果表の編集専用ショートカットメニューに次のメニューを追加した。
 - ・行を上に移動
 - ・行を下に移動
 - ・列を左に移動
 - ・列を右に移動